

第105回南あわじ市議会定例会議事日程（第1号）

令和3年8月30日（月）午前10時開議

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期の決定
- 第3 諸般の報告
- 第4 行政報告
- 第5 委員会調査報告
- 第6 議案第65号、議案第66号（2件一括上程）
- 議案第65号 南あわじ市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 議案第66号 南あわじ市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第7 議案第67号 南あわじ市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例制定について
- 第8 議案第64号 令和3年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）
- 第9 議案第68号、議案第69号、議案第71号、議案第72号（4件一括上程）
- 議案第68号 兵庫県市町交通災害共済組合格約の一部変更について
- 議案第69号 過疎地域持続的発展計画の策定について
- 議案第71号 兵庫県市町交通災害共済組合の解散について
- 議案第72号 兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分について
- 第10 議案第70号、議案第73号（2件一括上程）
- 議案第70号 （普）堀岸川護岸整備工事（第1期）請負変更契約の締結について
- 議案第73号 損害賠償額の決定及び和解について

第11 認定第1号～認定第12号（12件一括上程）

- 認定第1号 令和2年度南あわじ市一般会計決算の認定について
- 認定第2号 令和2年度南あわじ市国民健康保険特別会計決算の認定について
- 認定第3号 令和2年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- 認定第4号 令和2年度南あわじ市介護保険特別会計決算の認定について
- 認定第5号 令和2年度南あわじ市土地開発事業特別会計決算の認定について
- 認定第6号 令和2年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定について
- 認定第7号 令和2年度南あわじ市国民宿舎事業特別会計決算の認定について
- 認定第8号 令和2年度南あわじ市広田財産区特別会計決算の認定について
- 認定第9号 令和2年度南あわじ市福良財産区特別会計決算の認定について
- 認定第10号 令和2年度南あわじ市北阿万財産区特別会計決算の認定について
- 認定第11号 令和2年度南あわじ市沼島財産区特別会計決算の認定について
- 認定第12号 令和2年度南あわじ市下水道事業会計決算の認定について

第12 同意第7号、同意第8号（2件一括上程）

- 同意第7号 南あわじ市広田財産区管理委員会委員の選任につき同意を求めることについて
- 同意第8号 洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任につき同意を求めることについて

議 員 派 遣 報 告 書

令和3年8月30日 定例会

第104回臨時会より本日までの地方自治法第100条第13項及び会議規則第162条の規定による議員派遣について、次のとおり報告します。

1 安全祈願祭

- (1) 派遣場所 南あわじ市桜花の郷1番地
- (2) 期 間 令和3年8月3日
- (3) 派遣議員 議長、産業厚生常任委員

2 淡路広域団体議会議員協議会

- (1) 派遣場所 淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
- (2) 期 間 令和3年8月13日
- (3) 派遣議員 正副議長、総務文教常任委員長

3 第2回淡路地域正副議長会定例会

- (1) 派遣場所 淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
- (2) 期 間 令和3年8月13日
- (3) 派遣議員 正副議長

議 長 報 告

令和3年8月30日 定例会

第104回臨時会を令和3年7月16日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

(令和3年度)

7月	16日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	20日	洲本市・南あわじ市衛生事務組合決算審査	やまなみ苑
	21日	全国過疎地域連盟兵庫県支部総会（議長出席）	兵庫県土地改良会館
	28日	淡路議会議員研修会（全議員出席）	湊地区公民館
	29日	議員協議会	議員協議会室、議場
	〃	総務文教常任委員会視察研修（議長、総務文教常任委員出席）	淡路人形座、福良地区公民館
	〃	淡路政経懇話会7月例会（副議長出席）	洲本商工会議所会館
8月	3日	安全祈願祭（議長、産業厚生常任委員出席）	南あわじ市桜花の郷1番地
	5日	第7回南あわじ市子ども議会（全議員出席）	議場
	13日	淡路広域団体議会議員協議会（正副議長、総務文教常任委員長出席）	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	第2回淡路地域正副議長会定例会（正副議長出席）	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	15日	戦没学徒追悼献花式（副議長出席）	若人の広場公園
	17日	第3回南あわじ市・洲本市小中学校組合議会臨時会	議場
	〃	第2回兵庫県後期高齢者医療広域連合議会定例会	三宮センタープラザ

18 日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
23 日	議会運営委員会	委員会室
25 日	第 3 回淡路広域団体議会定例会	淡路広域消防事務組合消 防本部議場
26 日	産業厚生常任委員会	委員会室

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

令和3年8月30日

市長	守本憲弘
副市長	馬部総一郎
教育長	浅井伸行
総務企画部長兼総務企画部長 総務課長兼総務課秘書室長	木田博仁
総務企画部付部長兼 (企画担当) 兼 市長特別補佐	勝見哲
危機管理部部長兼 市長特別補佐	喜田憲和
市民福祉部長	西庄登
産業建設部長 (総合調整担当)	和田昌治
産業建設部付部長 (商工観光・水産・教育連携担当) 兼市長特別補佐	川上洋介
教育委員会教育次長 (学ぶ楽しさ日本一推進調整担当)	仲山和史
市民福祉部副部長 (福祉・新型コロナ ワクチン接種担当)	齋藤浩二
市民福祉部副部長 (子育ての喜びが見える まちづくり推進調整担当) 兼子育てゆめるん課長兼児童館長	前田秀美
市民福祉部副部長 (環境施設整備推進担当)	廣内繁一
産業建設部副部長 (建設・下水道整備見直し担当)	倉本雅文
教育委員会教育次長補 兼学校教育課長 (学校教育指導主事)	大住武義
会計管理者兼会計課長	河井達雄

令和3年8月30日

南あわじ市議会
議長 長 船 吉 博 様

総務文教常任委員会
委員長 小 島



委 員 会 調 査 報 告 書

第98回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 市の総合的企画、調整について
- (2) 行財政計画について
- (3) 市有財産の維持管理と財源の確保について
- (4) 情報化の推進について
- (5) 離島振興対策について
- (6) 国際交流及び友好市町の調査について
- (7) 人権施策について
- (8) 消防・防災対策の推進について
- (9) 教育の充実、文化・スポーツの振興と関係施設の整備について
- (10) 青少年の健全育成について
- (11) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

2 調査の経過

令和2年11月19日、第98回南あわじ市議会臨時会において総務文教常任委員の選任が行われ、以後、4回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

所管事務調査については、新型コロナウイルス感染防止対策として、説明員ができるだけ密接にならないよう、総務部門と文教部門に分けて2部制で所管事務調査を行い、机上にパーテーションを設置し感染防止に努めた。また、「より深い議論」を目的として、1月27日の所管事務調査より質問の事前通告制を取り入れ議論を深めた。

また、関係団体との意見交換や調査事項について現状を把握するため、管内調査を実施した。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和3年1月27日、2月15日、4月21日、5月13日

(2) 管内調査

令和3年7月29日

○淡路人形座との意見交換会

3 調査の結果

- (1) 市の総合的企画、調整について

高速バスについて、淡路島の高速道路上を經由し四国に行くバス路線の内、淡路島内で停車する便数が少ない。県域を越えるという課題はあるが、四国、とりわけ徳島は、市民の生活圏域としては重要な部分であるので、市内で停車をする高速バスの増便を市の独自の課題として位置付け、実現に努めて欲しいとの意見がありました。

また、デジタル防災行政無線の手続きについて、現在、転入者等は本庁舎1階の総合窓口センターで各種申請時にチェックシートを配布され、デジタル防災行政無線の設置を希望した場合、3階の危機管理課で手続きとなる。災害時に大切な情報を得るものなので、希望してもらいやすいように、1階の窓口でワンストップで手続きができるよう検討していただきたいとの意見がありました。

また、自治体連携について、現在、淡路島3市では、淡路広域行政事務組合、淡路広域消防事務組合、淡路広域水道企業団のそれぞれに議会があるが、他府県では1つの広域事務組合にまとめているところもあるので、淡路島においても1つに集約し、事務局などの統合効率化と議員定数を増やすなどの議会機能の強化を図ることは十分可能だと思うので、研究、検討していただきたいとの意見がありました。

また、新過疎法について、要件の見直しがあり旧西淡地域と旧南淡地域が認定を受けた。過疎と真正面から向き合い、地域の活性化を目指し取り組んで行くことが課題になってくる。地域と連携し住民の要望実現に向け動いていただきたいとの意見がありました。

(2) 市有財産の維持管理と財源の確保について

学校施設の改修について、財源が一番のネックで、大規模改修に合わせて実施した方がよい工事もあるのは分かるが、定期点検で危険と判断された箇所については子供達の安全を守るうえで、応急処置はしっかりとやっていただきたい。公民館の改修について、建物の耐震化、耐用年数、傷み具合などを考え改修してとのことだが、計画的に改修をしてほしい。公共施設のトイレについて、生活様式が変わり家庭では和式便器から洋式便器に変わってきている。公共施設についても、トイレの洋式化を進めていってほしいとの意見がありました。

(3) 離島振興対策について

離島振興について、現在の離島振興計画は令和4年までの10年計画となっている。沼島住民が少しでも幸せに暮らせる魅力あるまちづくり、活力ある島づくりをしていくために、次期計画の策定に向けては、地元住民の意見を十分聞き入れたなかで政策に活かしていくようにしていただきたいとの意見がありました。

(4) 人権施策について

ジェンダーの平等、男女間の格差、差別については、様々な問題があるということや学校教育や社会教育の中でも考えていくということや今後の課題としてしっかり位置付けていただきたいとの意見がありました。

(5) 消防・防災対策の推進について

避難所について、大規模災害が発生した場合は体育館などが避難所になるが2020年に製造が中止になった水銀灯を使用している体育館がある。LEDは電気代を節約でき、照度調整やオンオフの操作性など、避難所生活も改善されることから、できるだけ早急にLED化を進めて欲しいとの意見がありました。また、コロナ前は47か所の避難所で9,000人の避難者を収容予定であったが、コロナ禍で感染防止対策をとると4,600人の収容に変更になった。万が一の時には市の施設以外の協力をお願いしているが、南海トラフ巨大地震の最大想定避難人数が9,000人のため、協力施設での収容人数を確定させ、できるだけ早く9,000人が避難所に収容できるように確保をしてほしいとの意見がありました。

新型コロナウイルス感染症の発生状況について、洲本健康福祉事務所管内としての情報しか出ないため、市内の発生状況が分からない。そのため、うわさ話としてしか伝わらない状況は、逆に市民に不安を与えているように思われる。危機管理上からも個人のプライバシーには当然配慮しなければならないが、市内での情報は、ある程度出してほしいとの意見がありました。

(6) 教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について

学校給食について、市は子育てにやさしいまちをうたって、医療費の無償化をしているので、給食費についても、無償化や補助等を拡充し経済的な面もアピールしていくべきではないかとの意見がありました。

また、不登校児童、生徒について、小学校で10人前後、中学校では20～30人程度の不登校生がいる。これまでも、家庭との連携を密にする、スクールカウンセラーなどの活用、タブレットの活用などの取り組みをしてきたと思うが、まだまだ改善できる点もあると思うので、しっかりと取り組んでいただき、子どもたちが自分の将来に向かって前向きに取り組める環境をつくっていただきたいとの意見がありました。

また、デジタル教科書について、教える側が効果的に活用できないとメリットがデメリットになる可能性があり、受ける側にも差が出てきてデジタル化の意味が薄れてしまう。授業の在り方を大きく変える可能性があるため、先生の能力の統一化、平準化に配慮しながらのデジタル教科書の導入をお願いしたいとの意見がありました。

また、淡路人形座について、組織改革に努めているが、座員はプロの芸術集団であるので、今まで通りのことをしていくのも大事であるが、どういうことが今の時代に受け入れられるかなどの工夫をし、思い切った改革をして欲しい。また、新たに市から職員が派遣され、座員も期待感を持って頑張っている。座員が安心して、人形座も経営が続けていけるようにしてほしいとの意見がありました。

令和3年8月30日

南あわじ市議会
議長 長 船 吉 博 様

産業厚生常任委員会
委員長 印 部 久 信



委員会調査報告書

第98回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第108条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調 査 概 要

1 調査事件

- (1) 税の賦課徴収について
- (2) 生活環境の整備推進について
- (3) 福祉対策について
- (4) 介護保険と高齢化社会対策について
- (5) 医療体制と健康づくりの推進について
- (6) 商工業及び観光の振興について
- (7) 農業振興の推進について
- (8) 水産振興の推進について
- (9) 都市整備事業の推進について
- (10) 下水道事業の推進について
- (11) 農業委員会に関すること

2 調査の経過

令和2年11月19日、第98回南あわじ市議会臨時会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、6回にわたり委員会を開催し、所管事務調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため行っていた、先進的取り組みを行っている自治体への管外調査は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年も自粛した。

(1) 所管事務調査のため開催した委員会

令和3年1月26日、2月16日、4月23日、5月14日、7月14日、8月26日

3 調査の結果

(1) 税の賦課徴収について

新型コロナウイルス感染症の影響による市民の経済状況が心配である。納税が困難な方に対する納税猶予制度の活用状況、令和2年度の市税の見込み額、滞納状況をみるなど、市民の所得状況の把握に努め、必要なところに支援が届くよう、支援策の検討に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

(2) 生活環境の整備推進について

産業廃棄物処理場については、現状の受け入れ量で推移すると、あと2年半で満杯になる。産業廃棄物の受け入れが出来なくなると、瓦業界をはじめとする地場産

業に大きな影響をもたらすことが想定される。喫緊の課題であるため、検討委員会を立ち上げ、タイムスケジュールをたて、解決策を検討していただきたいとの意見がありました。

マイナンバーカードの普及について、マイナンバーカードの市民の取得率が30.2%と向上しているが、コンビニ交付の際の手数料割引や身分証明証や保険証として使える等、メリットをしっかりと説明して、さらなる取得率の向上に励んでいただきたいとの意見がありました。

(3) 福祉対策について

生活困窮者のコロナ対策について、生活保護に該当しない方で、実際コロナ禍の影響で生活苦にある方もいる。そのような方が窓口に来られた時は、丁寧に聞き取りを行い、救済につながるよう相談・支援していただきたいとの意見がありました。

福祉見守り支援対策金の支援額について、非正規労働者やパート勤務者の中には、コロナ禍の影響で職を失い、補助も受けられなくて、生活困窮者になった人がでてきているので、支援が必要な人に支援が届くよう取り組んでいただきたいとの意見がありました。

福祉関係施策では、国の方針も変更され、サービス内容も変わってきているので、いかにそれを市民に周知していくかがますます重要になってきている。市民への周知のため、福祉サービスのパンフレット作成に取り組んでいただきたいとの意見がありました。

(4) 医療体制と健康づくりの推進について

町ぐるみ健診について、予定通り実施されるとのことだが、市民が安心して健診できるよう、3密を避けるなど、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで実施していただきたいという意見がありました。

新型コロナウイルス感染者の発表については、保健所管内単位で発表されているが、どの市で発生したか分かったほうが、それを聞いた市民の人も行動しやすくなるので、市単位で発生状況が分かるように、発表方法の改善を県へ要望していただきたいとの意見がありました。

県では、濃厚接触者だけでなく無症状者についてもPCR検査が行われている。また、検査対象が妊婦にも拡大されているので、妊婦にもそういった制度があることを周知していただきたいとの意見がありました。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、関心の高い話題となっており、市内のワクチン接種がスムーズにいくよう1月から8月にかけて、その時々、想定される課題について、次のような様々な意見がありました。

新型コロナウイルスのワクチン接種について、組織体制、拠点病院の設置、アナフィラキシーショック等副作用への対応体制、ファイザー社製のワクチンの輸送方法や保管方法、接種回数や接種順、接種料金の有無、集団接種の方法、基礎疾患のある人への対応、医師会との協力体制についてなどに考慮し、万全の体制を整え、ワクチン接種を実施していただきたいとの意見がありました。

かかりつけ医等、その方の既往歴を知っている人にワクチン接種の際の問診をしていただけるよう、個別病院でのワクチン接種を検討していただきたいとの意見がありました。

新型コロナウイルスの感染リスクから考えて、高齢者施設、保育所や学童保育等で働く人など、感染リスクの高い職場で働く人が、早くワクチン接種できるよう、優先順位を上げていただきたいとの意見がありました。

ワクチン接種の際、交通手段の確保が難しい人には、タクシー等で送迎する方法を検討していただきたい。また、タクシー利用について、接種予約の際に案内できるよう取り組んでいただきたいとの意見がありました。

新型コロナウイルスワクチン接種の申し込みについては、インターネット等で予約するのがどうしても困難な人もいるし、他の自治体では受付が集中してなかなか電話が繋がらないといったことも聞く。受付方法を工夫したり、電話回線を増設するなど、市民がスムーズにワクチン接種の予約できるよう実施していただきたいとの意見がありました。

自宅療養者で容態が急変して亡くなった人もいると聞く。パルスオキシメーターの配付など、自宅療養者のサポート体制の強化を、県に強く要望していただきたいという意見がありました。

(5) 商工業及び観光の振興について

ゴールデンウィーク中の対応について、緊急事態宣言も視野に入れ、協議されていると聞くが、連休も近づいてきているので、迅速な判断と市民へのわかりやすい周知をお願いしたいとの意見がありました。

今年もゴールデンウィーク等繁忙期にコロナウイルスの影響で閉鎖せざるを得ない施設が多く発生した。国の雇用調整助成金等の制度については、正規職員だけでなく、非正規職員についても助成できる仕組みになっている。そのような申請事務に不慣れな事業所もある。商工会等を通じ、制度周知を徹底し、きめ細やかにサポートしていただきたいとの意見がありました。

コロナ禍で大変な思いをしている宿泊観光施設等の指定管理者の経営状況について、早急に経営状態を把握したうえで、施設管理を続けていくために、現状に応じた支援を検討していくべきであるとの意見がありました。

(6) 農業振興の推進について

有害鳥獣対策については、殺処分等の実績も上がってきている。また、新たな大規模有害鳥獣の捕獲設備の設置も現在検討されていると聞くが、この問題で重要なのは殺処分後の処理まできっちりと考えることなので、殺処分方法がおろそかになり周辺からクレームが出ることがないように、しっかり計画を立て、検討していただきたいとの意見がありました。

また、捕獲した有害鳥獣を最終処分する方法は、難しい課題であることは認識しているが、全国でいろいろ取り組まれているので、南あわじ市にあった方法をしっかりと選択していただきたいとの意見がありました。

諭鶴羽山頂への林道はまだ、舗装されていないところがある。最近、観光客が多くなってきているので、車が対向できるスペースや舗装の整備について、取り組んでいていただきたいとの意見がありました。

バイオマス施設の排水から水質基準を超える値が検出され、バイオマス施設が停止されている。玉ねぎの収穫シーズンを迎えており、このままバイオマス施設が停止されたままだと、不法投棄等も心配される。バイオマス施設再稼働のため、水質改善に全力で取り組むよう強く要望するとの意見がありました。

(7) 水産振興の推進について

水産業については、漁価が大幅に下落し、漁業従事者にとって厳しい状況が続いている。漁業者の救済策として、事業持続化給付金のほかに、漁業従事者の実情に合った、財政的支援策を打ち出していきたいとの意見がありました。

(8) 都市整備事業の推進について

河川の浚渫工事については、計画的に範囲を決めてやられているとは思いますが、草木が生い茂っている状態で放置されていると見えるところもある。河川浚渫工事の範囲をもっと広めてやっていただきたいという周辺住民の声を、県へ粘り強く届けていただきたいとの意見がありました。

老朽危険空き家除去事業支援事業について、危険空き家があることによって、通学する児童・生徒をはじめ市民に危険がおよぶ場合もあり、市民の関心も高い。危険空き家を撤去するには、時間もかかることは承知しているが、撤去されないともしていないようにとらえられることもあるので、市民に安心感を与えられるよう、案件ごとの進捗状況や市の取り組み等を丁寧に説明していただきたいとの意見がありました。

(9) 下水道事業の推進について

下水道事業について、下水道施設の処理区が変更になった地域で地区別の説明会では、合併浄化槽と公共下水道との個人の費用比較等、市民が聞きたいことをしっかりと説明できるような体制で実施していただきたいとの意見がありました。

また、これまでは、老朽化した水道管や道路整備を下水道の管渠と併せて整備することになっていたため、整備時期を調整していた地域もある。下水道施設の処理区変更により、できなくなった工事等については、地域の意見をよく聞いて対応していただきたいとの意見がありました。

決算審査特別委員（案）

第 105 回 定 例 会

1	番	熊	田	司
2	番	小	島	一
3	番	蛭	子	智彦
4	番	印	部	久信
5	番	谷	口	博文
6	番	阿	部	計一
7	番	太	田	康文
8	番	原	口	育大
9	番	土	井	巧
10	番	北	村	利夫
11	番	廣	内	孝次
13	番	北	条	志津子
14	番	登	里	伸一
15	番	久	米	啓右
16	番	木	場	徹
17	番	吉	田	良子